



安心・安全・住みよいまちづくりを目指して!

神坂たつあき市政レポート Vol.17 2012年5月号

公明党 さいたま市議会議員 神坂たつあき



委員会：総合政策委員会、予算委会

特別委員会：見沼たんぼ将来ビジョン

マンション防災対策を清水市長に申し入れ

昨年3月11日に発生した東日本大震災を契機に、国をはじめ各自治体でも防災計画の見直しをおこなっています。さいたま市でも、こうした動きとともに新たな地域防災計画の策定を進めており、6月には公表する予定になっております。

公明党さいたま市議団は、これまでも学校耐震化や災害時の通信網の整備、避難所の確保などいくつかの防災対策を提言してまいりましたが、このたび「マンション防災対策に関する申し入れ書」を5月22日(火)に清水勇人・さいたま市長に届け、4項目にわたる申し入れをおこないました。



マンション防災対策の申し入れを清水勇人市長におこなう公明党さいたま市議団 (5月22日)

その主な内容については、以下のとおりです。

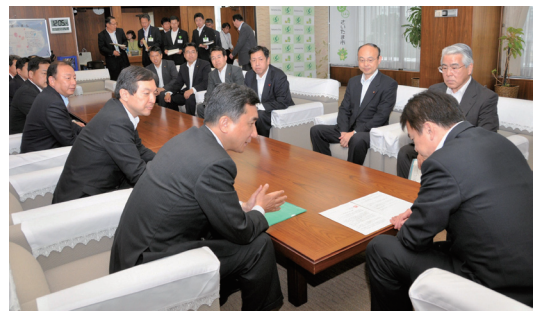
「マンション防災対策に関する申し入れ書」の主な内容

(趣旨)

東日本大震災以降、マンションが高層耐震建築物であることから、防災拠点としての機能を再評価し、地域の避難所として防災協定を結ぶ自治会が増えつつあります。

大型マンションには集会室、公園、大型駐車場、受水槽等の設備を独自に持つものが多く、地域の避難場所、飲料水供給所や防災物資の分散備蓄場所としての活用がさいたま市においても可能です。

さらに、さいたま市では200年確率での河川洪水への対策が不可避であり、マンションをその避難所として位置付けることも重要です。



マンション防災対策について、清水市長に説明する公明党市議団

申し入れ項目の抜粋

○マンションの自主防災力を向上させるために、一定規模以上のマンション管理組合を市の自主防災組織に加え、防災マニュアルや自主防災資機材の充実により地域防災力を高めること。

○市独自の(仮称)防災力認定マンション制度を創設し、災害に強いマンションづくりを誘導すること。